医療総合学科（昼間２年制）

養成目的

医師事務作業の技術を身につけ医師の事務的作業補助をするだけでなく、多くの医療機関では電子カルテを使用した運用を行っている為、システムの代行入力、システムの改善提案や簡単な保守、必要な医療統計データ出力等応用もできる人材の育成を行う。また外部との連携等が必要な接遇マナーや一般常識（併修短大：産業能率短期大学）を学び、コース選択により自立した職業人育成を行う。

医療事務・ドクターズクラークコース

心理学知識を身につけメンタルサポートの必要性を修得することにより職場内だけでなく患者様の不安解消ができる人材育成を目標とする。

視能訓練士学科１年制進学コース

在学時、進学する前から簡易な眼科検査の技術を取得することにより、進学してからもスムーズに勉学ができ、国家試験が取得できるコース制もある。

学年（学期）目標

学年	到達目標
1 年前期	知識：基礎教養を中心に読む、書く力を身につける。 態度：新入生研修等で社会人としてのマナーの基礎を身につける。 技能：検定取得により基礎知識を身につける コース活動を通してコース別の実習基礎ができるようになる。
1 年後期	知識：基礎分野を通して医学知識の基礎、法律の基礎の知識を身につける。 態度：HR 等を通して社会人としての規律を身につける。 技能：検定取得により医療人としての知識を身につける。 コース活動を通してコース別の実習応用ができるようになる。
2 年前期	知識：専門分野（疾患別や倫理論）の学習を通して医療人の基礎知識を身につける。 態度：キャリア教育を通して職業的自立ができる力を身につける。 技能：SV による特別講義を実施し患者様との接し方などの現場力を身につける。 コース活動を通して専門職としての基礎力が身につく。
2 年後期	知識：専門分野（疾患、DPC 等）の学習を通して現場力の基礎を身につける。 態度：実習先の職場のルールを遵守でき、実習指導者や関係職種と良好な関係を築ける。 技能：医師事務作業補助者としての技能を身につける。 コース活動を通して専門職としての応用力が身につく。

取得目標資格

共通目標資格

・サービス接遇検定（実務技能検定）
・ビジネス文書検定（実務技能検定）
・医療事務（医科）能力検定試験（日本ビジネス検定協会）
・メディカル・フロント・コンシェルジュ（日本医療教育財団）
・医師事務作業補助者（日本医療教育財団）

医療事務・ドクターズクラークコース目標資格

・ケアコミュニケーション検定（サーティファイ）
・ビジネス能力検定（職業教育・キャリア財団）
・メンタルヘルスマネジメントⅢ種（大阪商工会議所）

視能訓練士学科１年制進学コース目標資格

・視能訓練士（国家資格）　（内部進学後卒業時に受験資格取得）
・視覚障がい者ガイドヘルパー（大阪府指定 同行援護従業者養成研修）

就職分野

特定機能病院、急性期病院、一般病院、療養型病院、診療所、医院など

職　　種

医師事務作業補助者、医療事務、医療秘書、病棟クラークなど